

平成 30 年度第 1 回岡崎市水循環推進協議会 会議録

1 会議の日時

平成 30 年 8 月 8 日（水） 午後 2 時～午後 4 時

2 会議の場所

岡崎市役所東庁舎 7 階 701 号室

3 内容

(1) 辞令交付式

(2) 議題

ア 岡崎市水環境創造プランの平成 29 年度進捗状況について

イ 岡崎市水環境創造プラン重点施策における実施時期の延長について

ウ 岡崎市水環境創造プランの改定について（災害）

4 出席委員及び欠席委員の氏名（五十音順）

(1) 出席委員

天野博、井上隆信、内山敬士、黄木勝敏、大島康司、皆瀬めぐみ、片岡喜幸、
神本崇、蔵治光一郎、武田美恵、富永晃宏、眞木宏哉、丸山泰男、山口晴江

(2) 欠席委員

長谷川明子、柏原美和子、谷地俊二

5 事務局職員の職氏名

環境部長 小早川稔、環境部次長（環境政策課長兼務） 手嶋俊明、環境政策課
副課長 蜂須賀功、環境政策課環境施策係係長 倉田知彦、環境政策課環境施策係
主事 井上崇也

6 説明のために出席した職員の職氏名

河川課副課長 柴田英幸、林務課林政係主任主査 加藤亮

7 開会

8 挨拶

(1) 環境部長挨拶

(2) 会長挨拶

9 議事録署名委員の指名

会長が議事録署名人として蔵治委員を指名した。

13 会議の公開

本日の会議を公開することとした。(傍聴者2名)

14 議事要旨

岡崎市水環境創造プランの改定について(水量・水質)

議事について、資料1に基づき事務局が説明し、その後次の趣旨の意見、質疑応答がなされた。

意見、質疑応答

眞木委員：

実績からは間伐が遅れていると言える。昨年の中日新聞で県内の間伐面積が年々減少しているという記事があった。最近では西日本や昨年の九州北部での土砂災害等の大きな災害が起きているので、乙川上流の歴史を紐解いてみると、旧石原村で1697年に風損で死亡が33名、当時の年平均死亡者数が10名程度ということから、3倍を超える人が自然災害で亡くなっている。その後、1715年に34名死亡、1734年には風雨洪水で44名死亡し、乞食となった人が38名と、当時の村の人口は100名もいなかったらと思われるが、小さな部落でこれだけの被害が出ていることから、乙川流域下流ではより多くの被害や犠牲者が出ているものと思われる。明治になってからは、山へ植林、間伐の管理がされるようになり今日に至っているが、その後、死者が出るような被害は報告されていない。上流の森林の管理を都市の問題として新しい制度を含め、しっかりと努めていただきたい。

15 その他

事務局から次回の岡崎市水循環推進協議会の日程について、概ねの時期を伝える。

16 閉会